

携帯ゲーム機ワンダースワンカラーのハイグレードモデル  
T F T液晶画面採用でより見やすく進化した機種  
**「スワンクリスタル」2002年7月12日発売**

株式会社バンダイ

所在地：東京都台東区駒形2-5-4

社長：高須武男 資本金：236億円

(株)バンダイは携帯ゲーム機「ワンダースワンカラー」(6,800円/税別・2000年12月発売)のハイグレードモデルとなる「スワンクリスタル」(7,800円/税別)を7月12日より全国の玩具・ゲーム売場にて販売します。

スワンクリスタルはT F T液晶を採用することで、ゲーム画面がより明るく見やすくなっています。本体デザインは縦使用でも横使用でも手になじみやすいように、なだらかな凹凸をつけたデザインとなっています。またスワンクリスタルはこれまで発売されたワンダースワン・ワンダースワンカラーソフト(169タイトル・5月8日現在)と周辺機器の全てを使用することができます。

スワンクリスタル発売と同時にバンダイの「From TV Animation ワンピース グランドバトル スワンコロシウム」「約束の地 リヴィエラ」の2タイトルが発売されます。8月末までにはスクウェアの「フロントミッション」やバンダイの犬夜叉、デジタルモンスター、ウィズのクラッシュギアを発売する予定です(別紙参照)。

バンダイでは昨年夏よりワンダースワンカラーのメインターゲットを従来のハイエイジ(10代後半~20代)から、バンダイが最も得意とするキャラクターソフトのユーザーに拡大、通信ケーブルを使った対戦遊びの訴求などにより、現在は子ども層(小・中学生)にまで人気広がっています。

6月1日からはワンダースワンカラーを4,800円(税別)にて販売、手ごろな価格でゲームを楽しみたいユーザーと、より見やすい画面でゲームを楽しみたいユーザー双方に向けスワンシリーズを展開することでスワンユーザーの拡大を目指します。スワンクリスタルの販売目標は2003年3月末までに50万台で、ワンダースワンカラー・ワンダースワン(モノクロ画面機・1999年3月発売)とあわせた累計出荷数は355万台となる見込みです。

## スワンクリスタルの仕様

- <発売日> 2002年7月12日(金)
- <価格> 7,800円(税別)
- <本体カラー> 2色(ブルーバイオレット・ワインレッド)
- <サイズ> 77.5×127.7×17.5ミリ
- <重さ> 98g(電池除く)
- <電源> 単3アルカリ乾電池×1または別売専用充電電池(連続使用約15時間)
- <LCD> カラーTFT反射型  
画面サイズ:2.8インチ  
解像度:ドットマトリックス部224×144ドット
- <サウンド> デジタル音源4ch・ステレオ
- <使用可能周辺機器> ・専用通信ケーブル  
・専用充電池  
・デジタルモンスター専用通信アダプター  
・ワンダーウエーブ  
・ワンダーウィッチ  
・ワンダーボーグ など

スワンクリスタルは、ワンダースワン・ワンダースワンカラーのソフト、周辺機器全てが使用可能です。

7～8月ソフト発売予定(価格は全て税別)

7月4日発売

\* バンダイ「アークザラッド 機神復活」 4,980円(RPG)

7月中旬発売

\* バンダイ「Fron TV Animation ワンピース グランドバトル スワンコロシウム」  
4,500円(対戦アクション)

\* バンダイ「約束の地 リヴィエラ」 4,980円(ファンタジックRPG)

\* スクウェア「フロントミッション」 5,200円(シミュレーションRPG)

7月下旬発売

\* バンダイ「犬夜叉 風雲絵巻」 4,980円(活劇アドベンチャー)

8月発売

\* バンダイ「デジタルモンスター Ver.ワンダースワンカラー(仮)」  
4,200円(育成SLG)

\* ウィズ「激闘!クラッシュギアTURBO(仮)」 4,200円(アクションSLG)

スワンクリスタルは5月9～12日に開催される「東京おもちゃショー」会場のバンダイブースにて初披露を行います。



写真 「スワンクリスタル本体」  
上：ブルーバイオレット 下：ワインレッド

報道関係者からのお問合せ先  
(株)バンダイ 田上、種田  
TEL : 03-3847-5005 FAX : 03-3847-5067

バンダイホームページ URL <http://www.bandai.co.jp/>  
ワンダースワン Web URL <http://www.swan.channel.or.jp/>